



Inona ny vaovao?

イヌナ ニ バオバオ?
何か良いことあった?

マダガスカル 青年海外協力隊 通信 第10号 (2018/8/28) 福長 漢偉

今回のテーマ：マダガスカルの祭り なんでもかんでもお祝い、わっしょい。

福長 漢偉 (FUKUNAGA TERUYUKI)

隊次：2017年度2次隊



活動国：マダガスカル

赴任地：アンズズルベ

(首都から約3時間)

職種：コミュニティ開発



前職：教師(非常勤/社会科)

出身：岡山県・岡山市

マダガスカルってどんなところ？

公用語：マダガスカル語・フランス語

人口：約2500万人（日本の6分の1ほど）

国土：587,000km²（日本より大きい！）

首都：アンタナナリボ



宗教：キリスト教及び伝統宗教

少数派・イスラム教

民族：約18部族

① 独立記念日編 -独立記念日はイメージと違う-

マダガスカルでは6月26日がフランスからの独立記念日。日本には独立記念日がないことをマダガスカル人はびっくりします。

独立を祝うというと、パレードなどかしこまつたお祝いをイメージする。しかし今回は、その前後の変わった様子をご紹介。



子供が爆竹で大騒ぎ 独立記念日は大切な日。そこでしっかり祝うために、2か月前ほどから町には大量の爆竹が出回ります。**子供が朝から晩まで爆竹を鳴らしまくり**。大人は怒らない。優しい国ですね。

人が花火で大騒ぎ 独立記念日は大切な日。そこでしっかり祝うために、独立記念日の前日から花火が大量に出回ります。**人が夜ずっと花火ではしゃぎまくり**。誰も怒れない。元気な国ですね。

みんながピカピカ大騒ぎ 独立記念日は大切な日。そこでしっかり祝うために、独立記念日の前日からピカピカ光るものが大量に出回ります。**みんなでピカピカ遊びまくり**。誰も眠れない。明るい国ですね。



ニワトリがケンカで大騒ぎ 独立記念日は大切な日。そこでしっかり祝うために、独立記念日の前日からニワトリが大量に出回ります。。もちろん食べるためです。ケンカのためではありません。マダガスカルでは闘鶏（ニワトリの戦い）が人気でみんなが見ています。ニワトリは必至です。



夜は花火で大騒ぎ 独立記念日は大切な日。そこでしっかり祝うために、町には花火が上がります。**マダガスカルは花火が近くで見ることができます。なぜなら、民家の間から花火を上げるからです。**（私の町だけかも）花火の際には花火に本気で気を付けましょう。

② 学校の祭り編 - マダガスカルの学校のお祭りは面白い -

日本でも学校で祭りがありますね！ただ、マダガスカルの学校の祭りは一味違う。とにかく、町の人気がたくさん来る。



学校のお金のためにニワトリを売ろう

マダガスカルの学校では、学校のお金を集めるために祭りがたまに行われます。お金を集めるために、おじさんが生きたニワトリを必死に売っています。ニワトリもおじさんも必死にもがいています。

設定が分からぬ仮装をする子供たち

この写真の子供たちは、なぜかピンクのマスクをしています。聞いたところ意味はないそうです。何をしているかと言うと、ただ歩いているだけ。理由なんていらない、楽しいことが一番大事。

伝統的な踊りを披露

マダガスカルの学校ではよく伝統的なダンスが披露されます。日本でいえばソーラン節のようなものでしょうか。みんな必死に踊る様子はとてもかわいい。時々地域のおじさんも飛び入り参加。良いですね。

③ 伝統的な祭り - 良いかどうかはわからない-



首都を歩いていると、前から突然たくさんの人たちが。音楽に合わせて踊っている人や大きな声で叫んでいる人がいる。何かのお祭りかな？と思い近くの人に聞くと「ハスマバナ」だという。日本語でいうと「割礼」、つまり性器を切除することです。そのお祝いを町をあげていました。この文化が良いかどうかは分かりませんが、町をあげて子供一人のために祭りを行う文化はいいなと思いました。

④ バカンスは楽しい - 日本でももっと休みを取りたいな -



じゃーん。左上がマダガスカルにしか居ないかなり大きなカメレオン、右上はマダガスカルにしかいないカエル、左下はマダガスカルにしかいないリマーと呼ばれる猿、右下はマダガスカル産のワイン。生き物も豊富、おいしいお酒も豊富。そんな楽しみを味わえるのは、バカンスのおかげ。バカンスはフランスの文化で長いお休みのこと。僕も2週間のバカンスをとって、おいしいものを食べまくり、たくさんの生き物を見てきました。だから、ニュースレターを作るのも遅くなりました。残りの夏休み、皆さんも大いに楽しみましょう。（この上手な写真はすべて友人が撮影したものです、感謝感謝。）